Ts騎士
悪堕ち

マズアの神子は
まだあどけない少女だ
他の国や街の他の神子たちも
そうであるように
生まれた直後に寺院に納められ
以来俗世から
徹底的に隔離され
丁重に育てられてきた

この世で人の住める
土地は狭い
奇跡の力で聖域を作り
維持するのが神子の
最も重要な責務だ

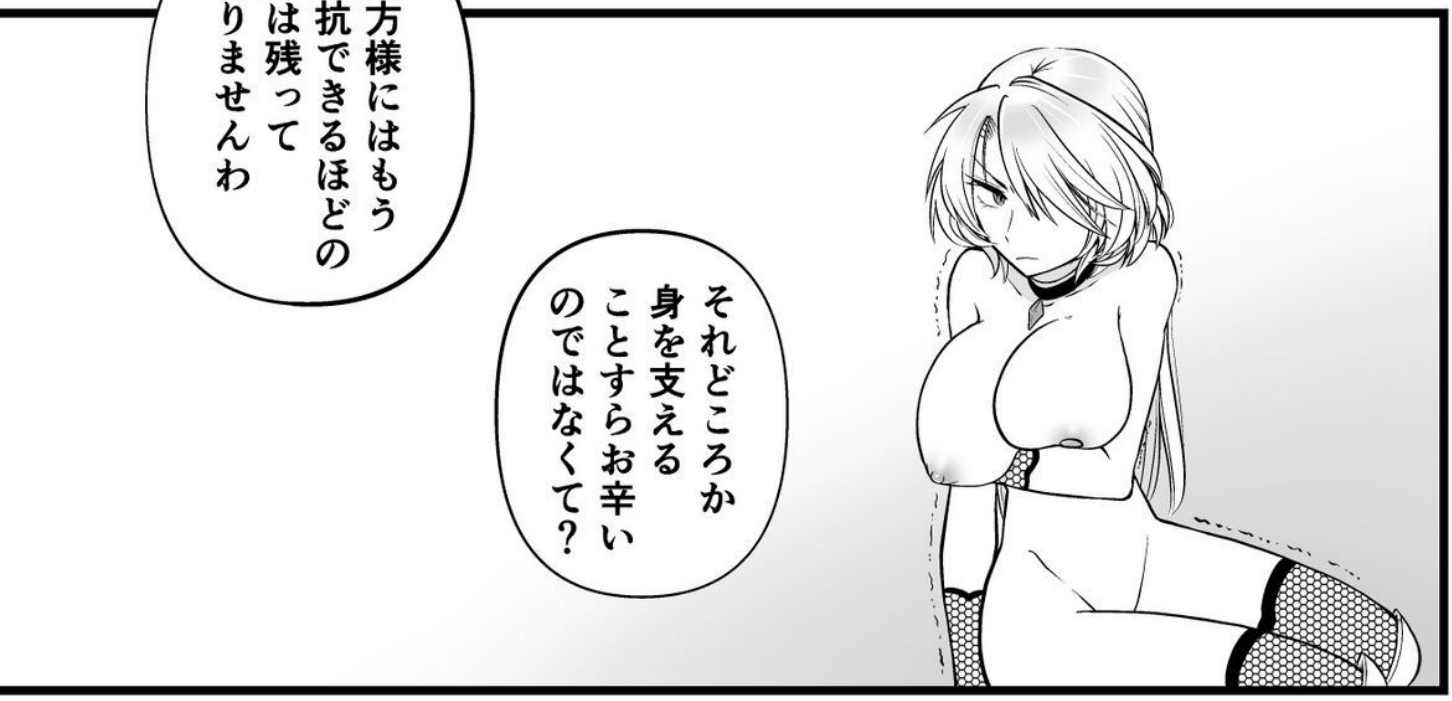
破戒と知りつつ
いつも私は心中で
神子様と他の子供たちとを
比べずにはいられなかった

神の化身として魔から
人々の安寧を護るため
日々己を高めなければ
ならない
その生活は禁欲
そのものである

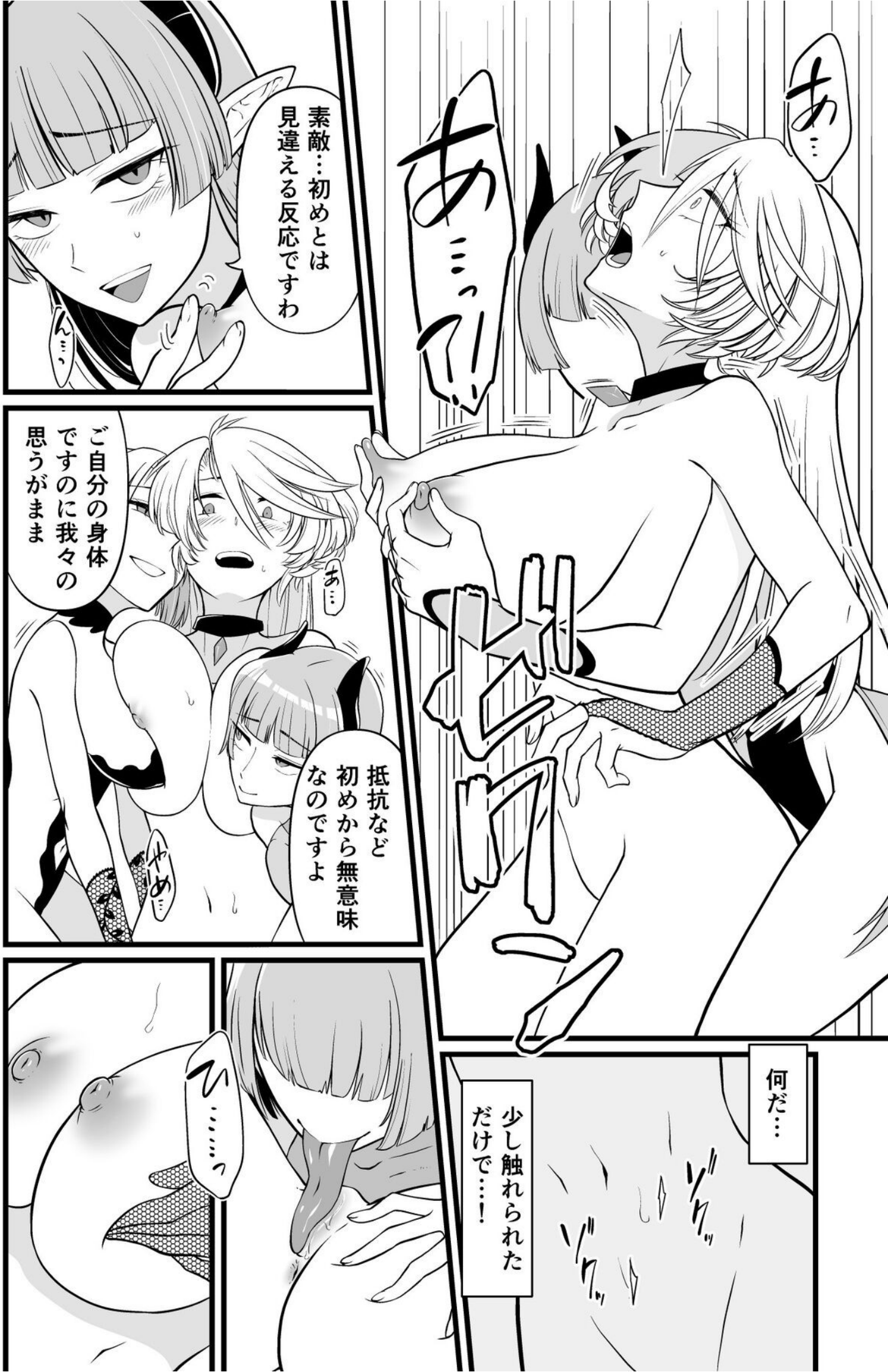
その歳不相応に
暗く大人びた眼を…

う……
！
おはようございます騎士様

あん
お疲れなのですから
ごゆっくりなさいませ
バッ
ご自身でも
お分かり
でしょう？
貴方様にはもう
抵抗できるほどの
力は残って
おりませんわ

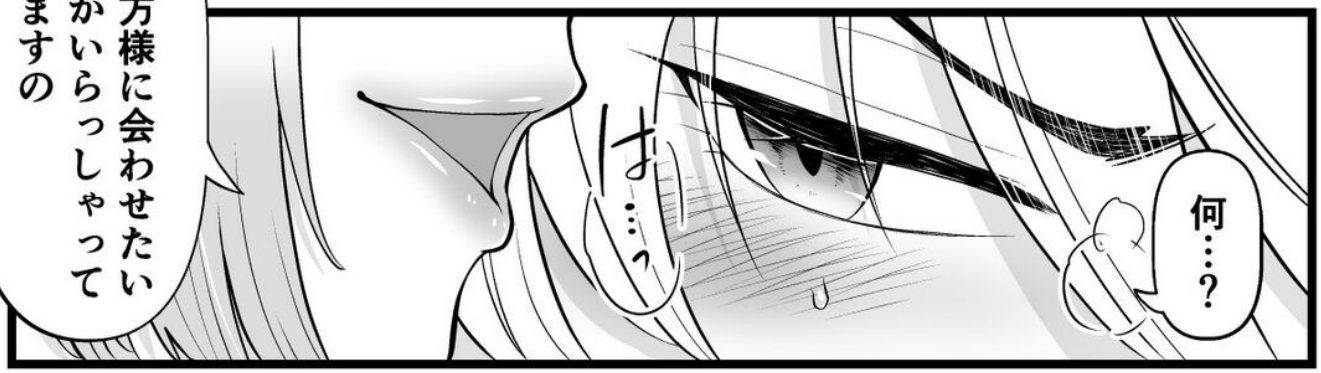

それどころか
身を支える
ことすらお辛い
のではなくて？

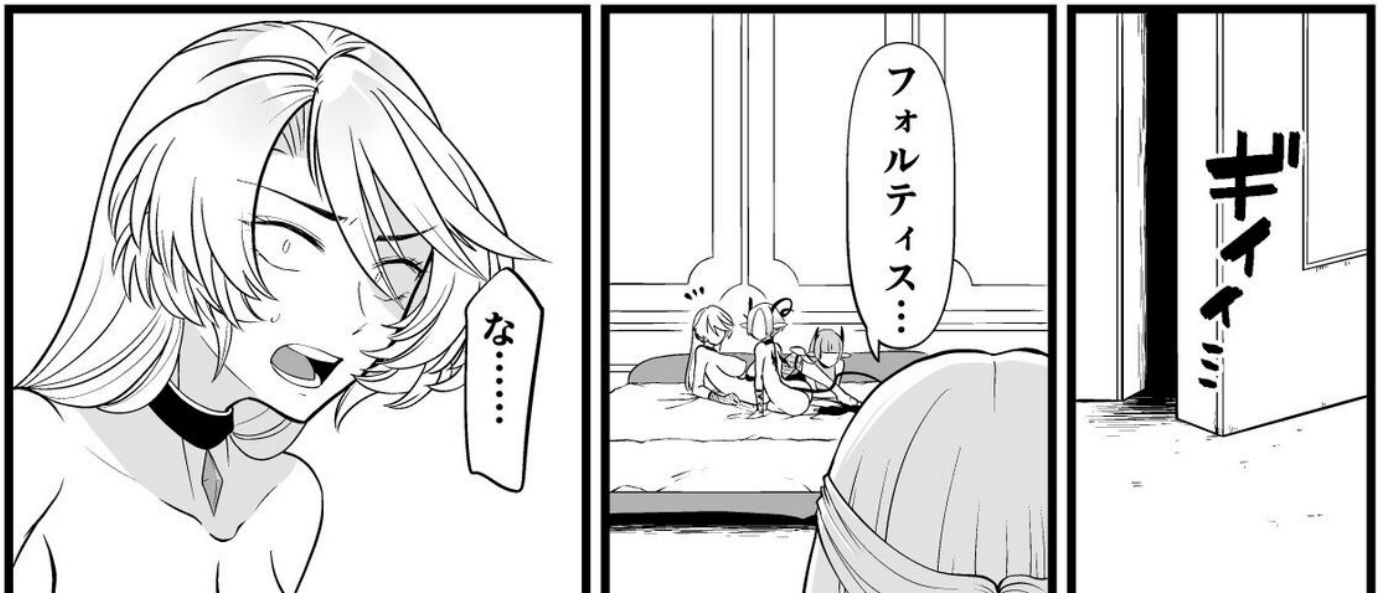
だからこそ
心で抗うのだ
こうなって
しまった以上
貴様らを笑いながら
死ねれば本望
まあ…
そんな
悲しいことを
おっしゃら
ないでください
キュ…


何だ…
少し触れられただけで…！
ゾクッ
ゾクッ
ここっ
ご自分の身体ですのに我々の思うがまま
抵抗など初めから無意味なのですよ
あ…
やめ…
素敵…初めとは見違える反応ですわ
んっ
あ…
あっ…
あ…

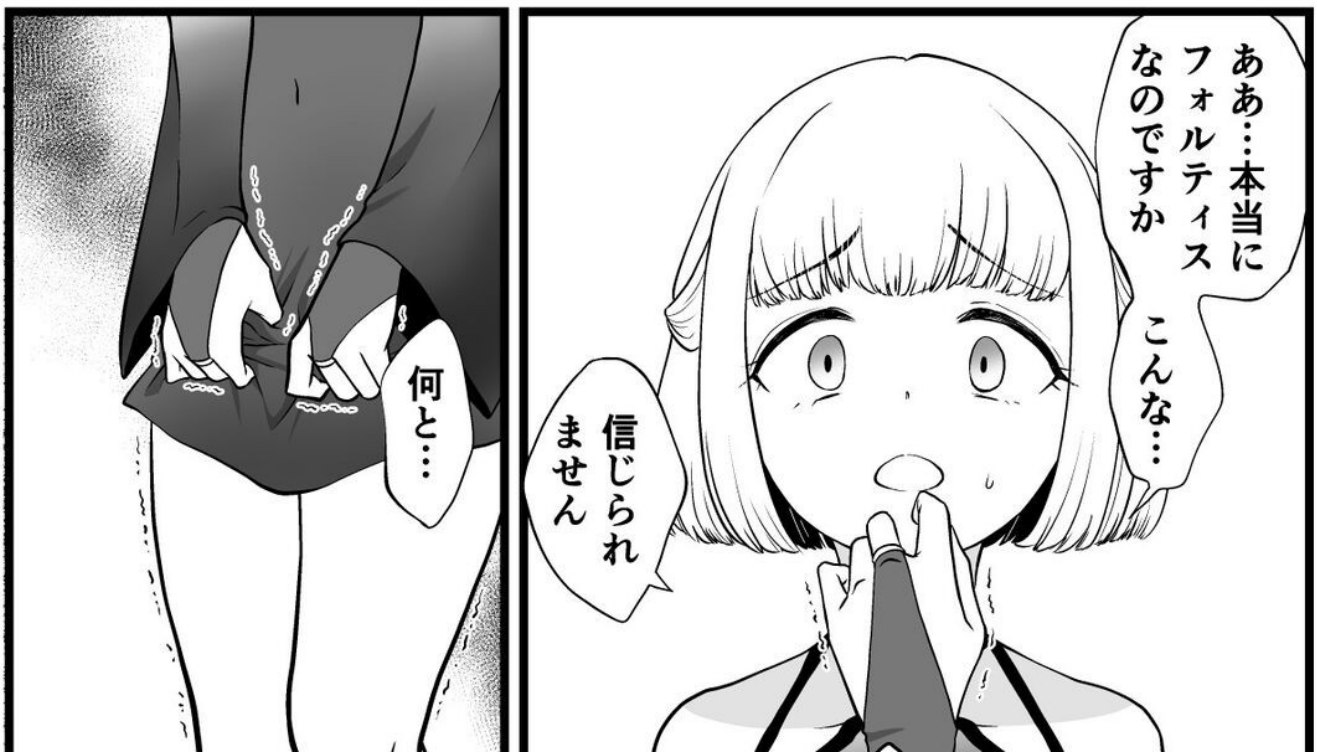
貴方様も薄々勘づいていらっしゃいましょう？
「初めから」…
我々は決して強大な魔力を持っているわけではありませんわ
思えば初めからそうだ
それなのになぜ神の加護を授かりし聖騎士様がこんなにも呆気なく弄ばれてしまうのでしょう
…貴方様に会わせたいお方がいらっしゃっておりますの
何…？
ギィィ
フォルティス…
な……

貴方様も薄々勘づいていらっしゃいましょう？
「初めから」…
我々は決して強大な魔力を持っているわけではありませんわ
思えば初めからそうだ
それなのになぜ神の加護を授かりし聖騎士様がこんなにも呆気なく弄ばれてしまうのでしょう
…貴方様に会わせたいお方がいらっしゃっておりますの


何…？


ギィィ
フォルティス…
な……

貴様らっ
そのお方から
離れ…
まあまあ♡
神子様…!?


ああ…本当に
フォルティス
なのですか
こんな…
信じられ
ません
何と…

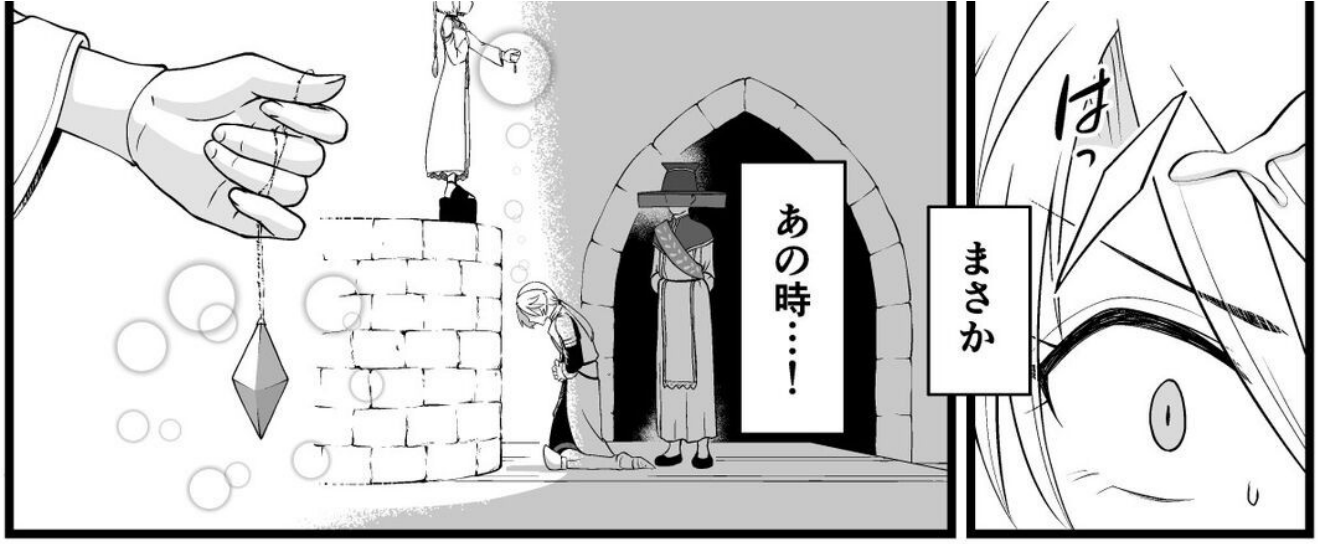
な……
素敵な姿に…
ゼクッ
ゼクッ
!?
ふふ…
待ちに待ったご対面ですわね
さあ神子様…
本当のお姿で騎士様にご挨拶なさいましょう♡
ドレレレレッ
あっ

な……
素敵な姿に…
ふふ…
待ちに待ったご対面ですわね
!?
さあ神子様…
本当のお姿で騎士様にご挨拶なさいましょう♡

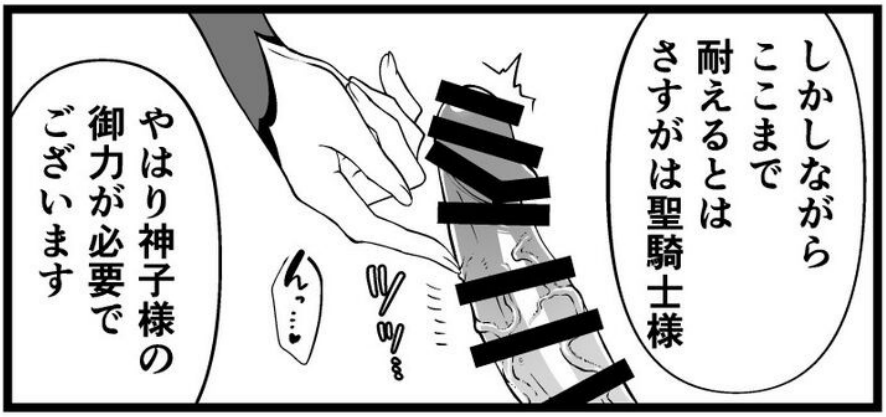
あっ
あっ
あっ♡
ビシャ
ビチャッ
あぁあ♡
ガク
ガクン

こんなにたくさん♡
ずっと我慢なさっていましたものね♡
あっ…
あう…♡
ビクン

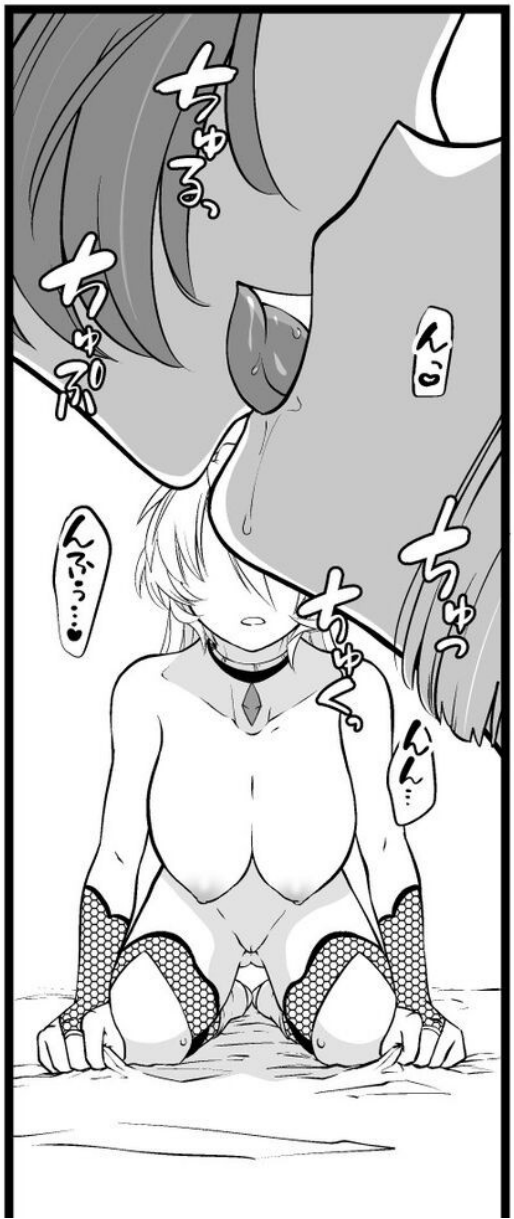
聡明な騎士様には察しがついておりましょう
この地の結界も貴方様を女体に変えたのも
全て神子様のお力添えあってこそですのよ


はっ
まさか
あの時…！

聖騎士は護符や
まじないがなくとも
厳しい鍛錬によって
神の加護を見えぬ
鎧とした者
ですが神子(私)ならば
一時的であれそれを
封じることが可能です

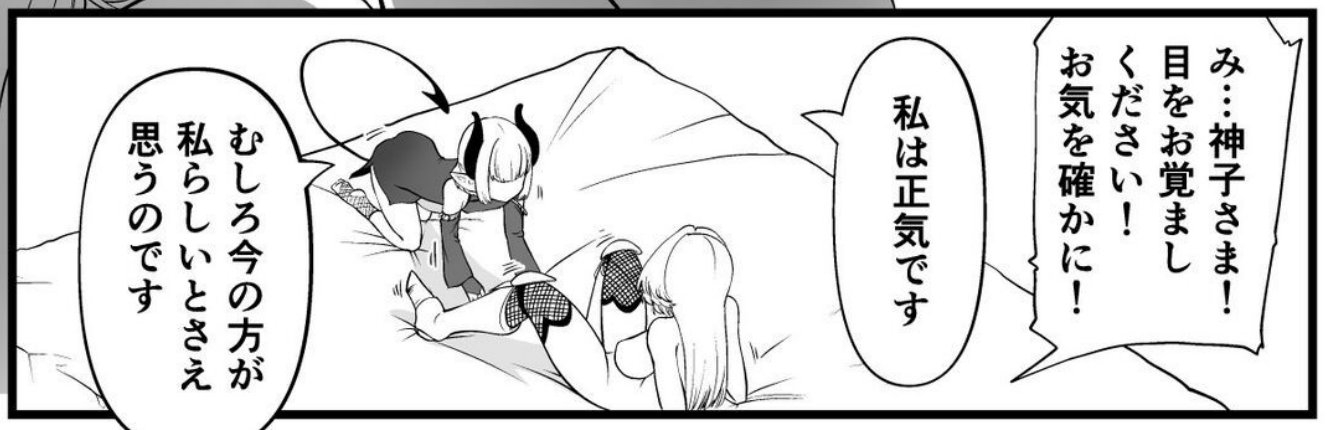

しかしながら
ここまで
耐えるとは
さすがは聖騎士様
やはり神子様の
御力が必要で
ございます
んっ…♡

構いません
むしろ感謝します
貴女達の導きが無ければ
私は自らを肯定する
ことすらできなかった
ふふ♡
はっ♡
はっ♡
ありがたき
お言葉ですわ


ちゅる、
ちゅぷ
ちゅっ
ちゅく、
んっ
んんっ…♡

それでは後はよろしくお願いいたします
あっ…
ペロ…
はっ
2人きりで存分に想いをお伝えくださいませ
バタン
フォルティス…
ハッ

…っ！
私の気持ち…
受け取ってくれますね？

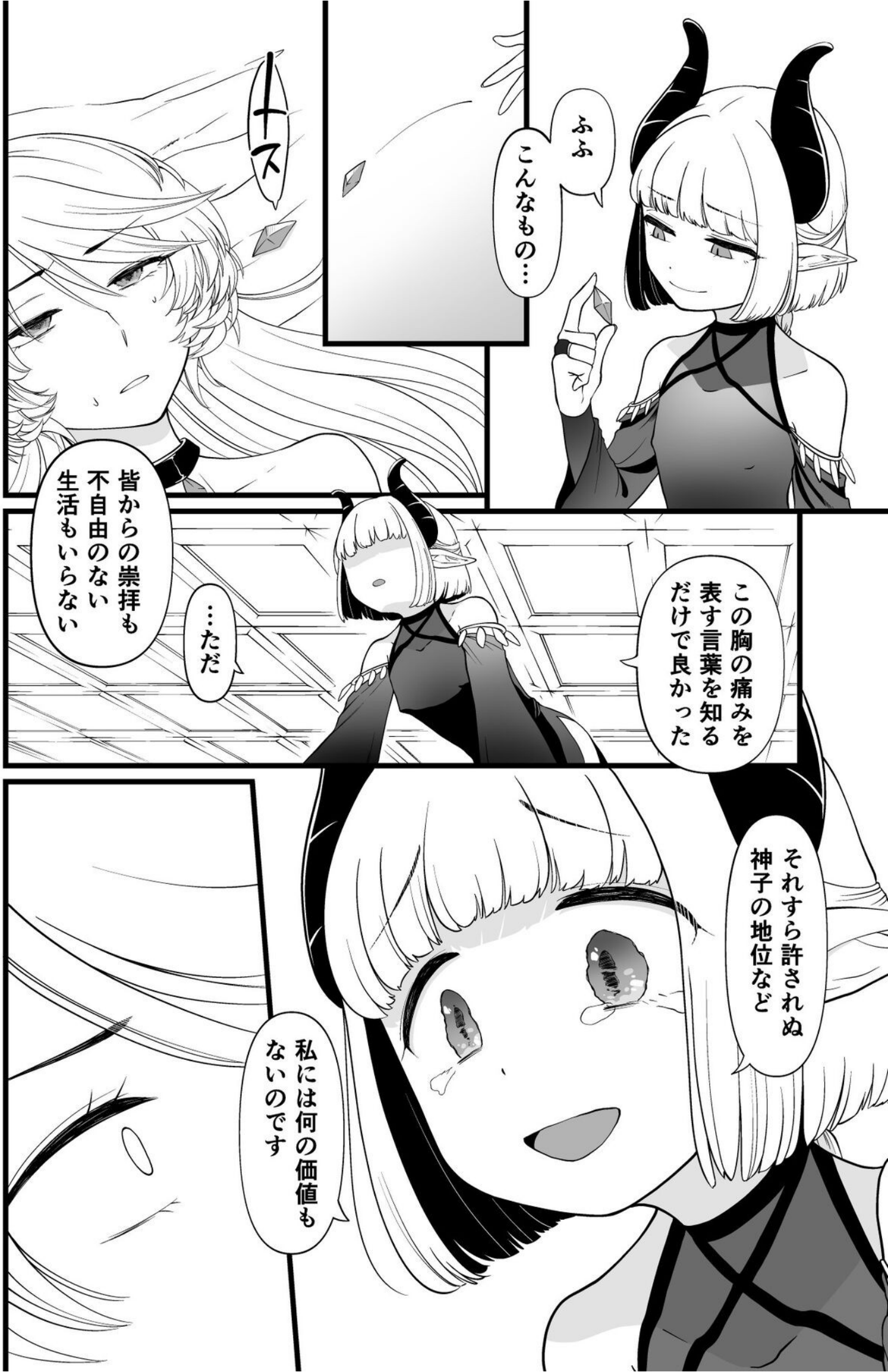

み…神子さま！目をお覚ましください！お気を確かに！
私は正気です
むしろ今の方が私らしいとさえ思うのです

神の傀儡を演じていたときよりもずっと…

違います！あなたは惑わされているだけだ！
魔に付け入られ精神を侵されているのです！
……
ではその是非

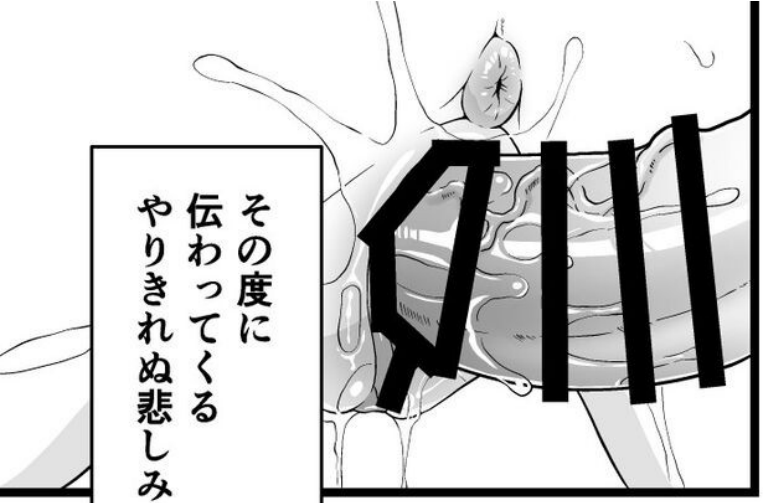
直に判断してくださいっ…♡
ああっ♡
これが本物のあなたの中なのですね…♡
すごい…♡
夫婦の婚姻の儀の意味を
恋文を読み合う男女の存在を知るたびに
こうしたいと身体が疼いて仕方がなかったのですよ♡
けれど街の誰も私の悩みを知ろうとしてはくれなかった

ただ神の声を聞けと
民を思い微笑んでいよと
無知蒙昧な私に
アイリス達は
淫魔
知恵と
手段を与えてくれました
あっぐっ…
ビュルルルッ
ビュププッ
あっ…
ふぅ…
んぅ
はあっ…
…私と同い年の娘たちと同じように
あなたをお慕いしたかった

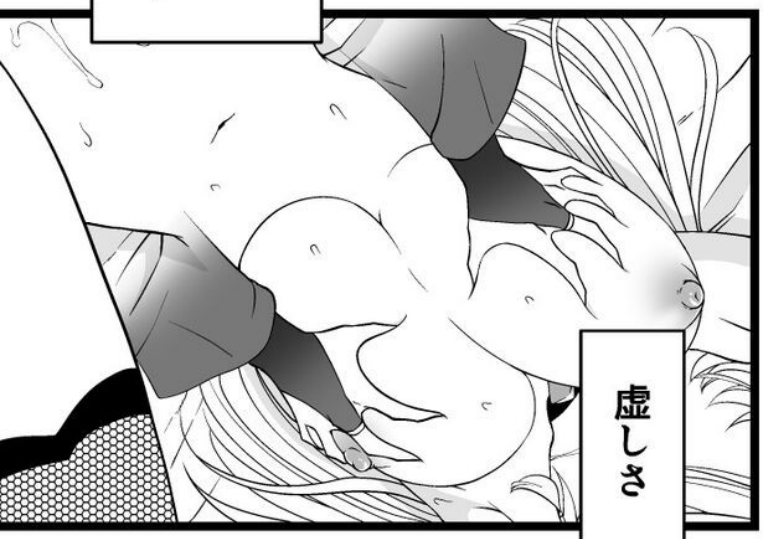

ふふ
こんなもの…
ナース
皆からの崇拝も
不自由のない
生活もいらない
…ただ
この胸の痛みを
表す言葉を知る
だけで良かった
それすら許されぬ
神子の地位など
私には何の価値も
ないのです

それから

幾度となく
神子様に注がれた



その度に
伝わってくる
やりきれぬ悲しみ

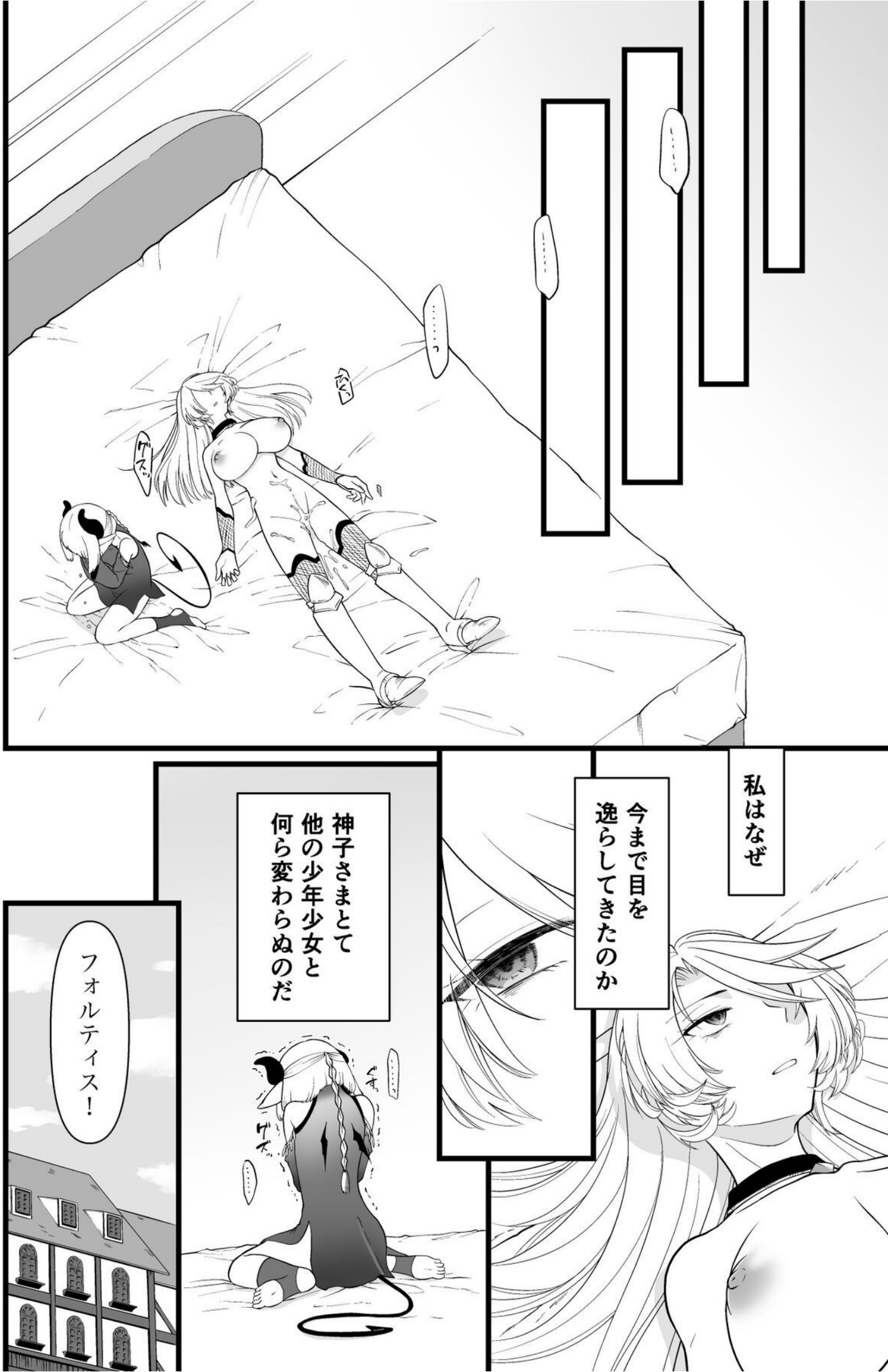


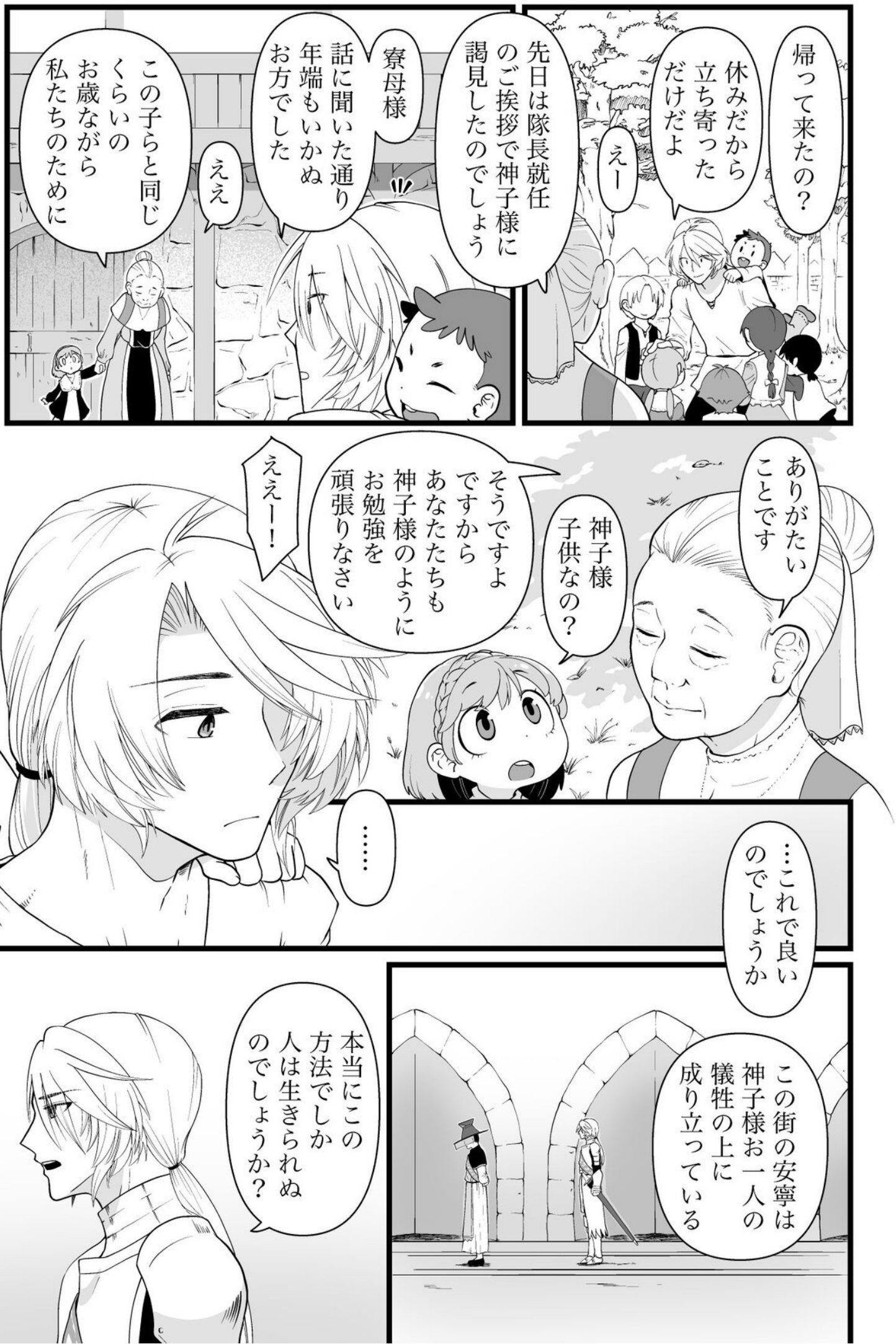
虚しさ

どれほど長い間
それらを
お独りで抱えて
こられたのか

そして何度
繰り返しても尚
このお方は
虚しいままなのだ

私がお応えせぬ限り


……
……
……っ
ぐぐ
グズッ
私はなぜ
今まで目を
逸らしてきたのか
神子さまとて
他の少年少女と
何ら変わらぬのだ
ぐす
……っ
グズ
……
フォルティス！


帰って来たの？
休みだから立ち寄っただけだよ
えー
先日は隊長就任のご挨拶で神子様に謁見したのでしょう
寮母様
話に聞いた通り年端もいかぬお方でした
!!
ええ
この子らと同じくらいのお歳ながら私たちのために
ありがたいことです
神子様子供なの？
そうですよですからあなたたちも神子様のようにお勉強を頑張りなさい
ええー！
……
…これで良いのでしょうか
この街の安寧は神子様お一人の犠牲の上に成り立っている
本当にこの方法でしか人は生きられぬのでしょうか？

ならば貴様が
聖域を維持し
魔から街を
保護してみよ
無礼者が
神子様の悲喜は
神の悲喜だ
凡人の矮小な
物差しで測れる
ものではない

その憐憫こそ
愚弄と知れ

なぜ気づかなかった
我々は
神は
たった1人の
少女の心すら
救えぬことに

コツ
ああ…
そうか
リィシャ
！
これは
貴女のお名前ですね

神子の名は
神と俗世を繋ぎ
奇跡の媒体と
なるもの…
汚れを許されぬ故
何人も貴女の
名を知らず
誰からも
呼ばれなかった
それは貴女ご自身は
この世のどこにも
存在しない
ことを意味する
そうだ

よくも聖騎士
などと…
神が見捨てた
のならば
貴女の悲しみすら
癒せぬ身分になんの
意味がありましょう
ギッ
他でもないこのお方が
求めてくださって
いるならば
どうか
この愚か者を
お許しください
もう貴女を
神子とは
言いません

私などで良ければ
唯一私だけが
このお方を救う資格を持つのだ
永遠に御名をお呼びしましょう
何も案ずることなどありません
リィシャ様
私…
わ
フォルティス…

私などで良ければ
唯一私だけが
このお方を救う資格を持つのだ
永遠に御名をお呼びしましょう
何も案ずることなどありません
リィシャ様
私…
わ
フォルティス…

私の全ては貴女を慰めるためにあるのですから♡
きゃあっ!!
さあ何なりとお申し付けください
お望み通りにいたしましょう

あ…わ
分かりません
ドキ ドキ ドキ
夢のようで…

ふふ…それでは
彼女らの
見よう見真似
ですが
ぬるぬる…♡
あ…!

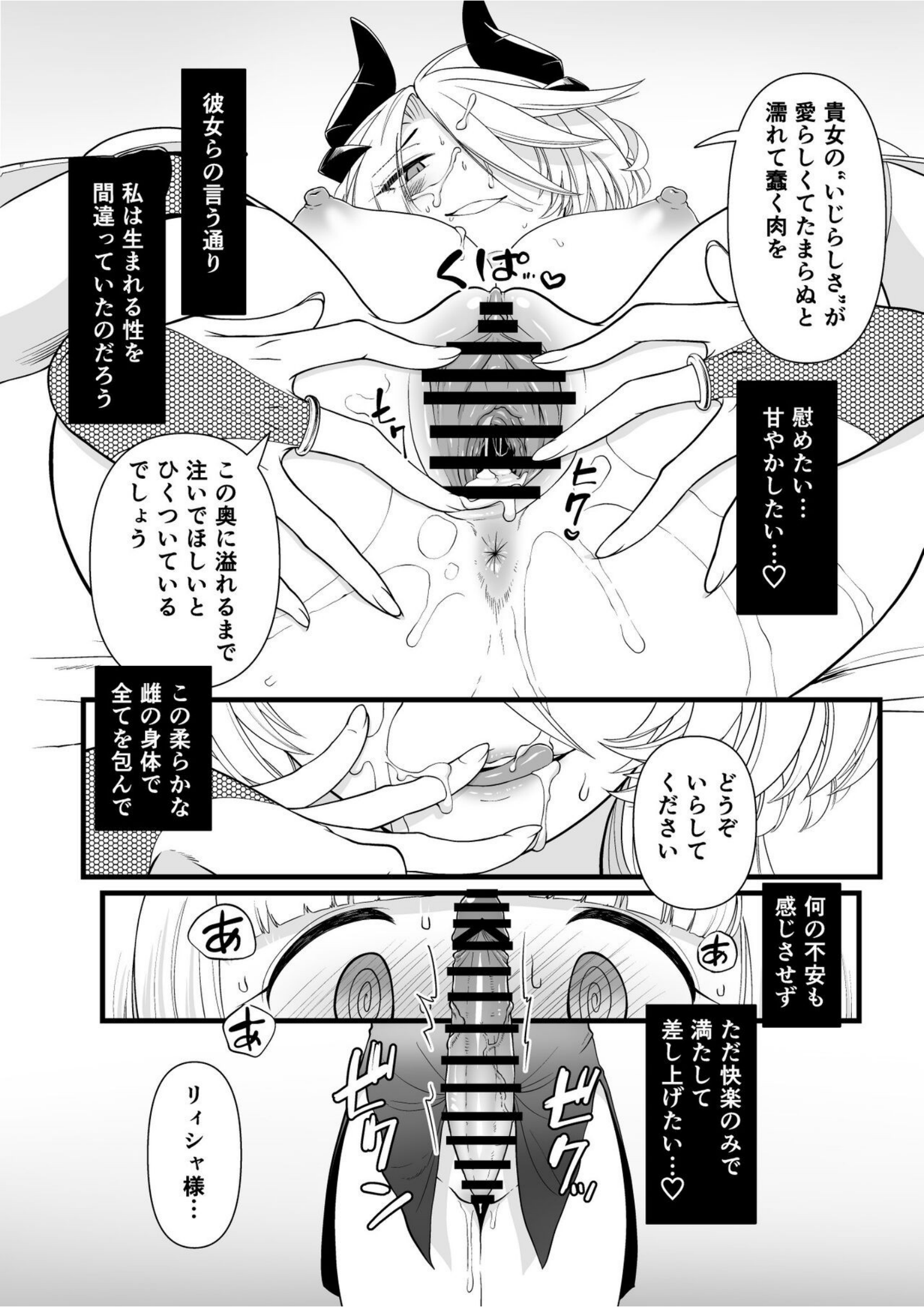
便利な舌だ
先端から根元まで余すところなく愛でられる♡
あっ
ぬるるるっ
あっ

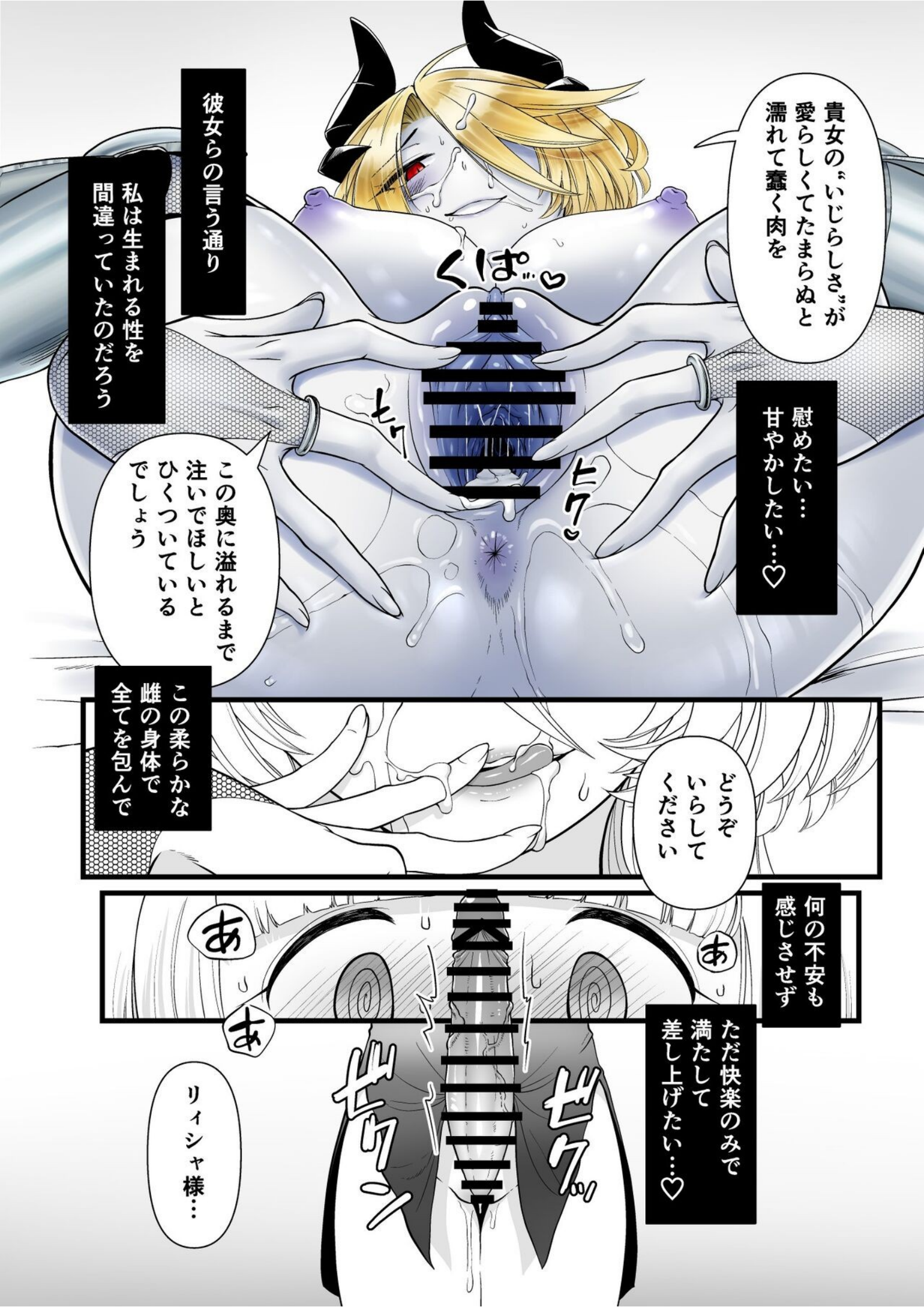
魔を受け入れた身体が悦んでいるのが分かる
甘美な味と匂い
頭が痺れる…♡
ぬるぬるぬるぬる
そんなにぃっ♡
はあ…っ
こうして包み込んでもこんなに余ってしまいますね…
私のために今まで育ててくださっていた欲望の大きさ…♡

何と健気なお方♡
この小さくか弱きお身体におよそそぐわぬモノをひた隠しにして
私にぶつけたくて堪らぬ日々を耐え忍ばれてこられたのだ
その事実だけで
雌の部分がどうしようもなく疼いてしまう♡♡♡
ゲボッ
んぶっ
ひゃうっ!
あっ
あんっ
出…っ♡
あっ
フォルティス

じゅるっ
じゅるるるるっ♥
あぁっ
ビクッ
ビクッ
あぁう♥
ぐぐぐっ♥
飲みきれない…♡
まだこんなに
ビクッビクッ♥

この身は雌雄どちらの快楽も得られる
はっ
はっ
はっ
だが
ビクッ
ビクッ
ギニ
ご覧ください


彼女らの言う通り
私は生まれる性を
間違っていたのだろう
貴女の〝いじらしさ〟が
愛らしくてたまらぬと
濡れて蠢く肉を
くぱ…♡
ヒク
ヒク♡
慰めたい…
甘やかしたい…♡
この奥に溢れるまで
注いでほしいと
ひくついている
でしょう
この柔らかな
雌の身体で
全てを包んで
どうぞ
いらして
ください
何の不安も
感じさせず
ただ快楽のみで
満たして
差し上げたい…♡
あ
あ
あ
ゼクッ
ゼクン
リィシャ様…


彼女らの言う通り
私は生まれる性を
間違っていたのだろう
貴女の〝いじらしさ〟が
愛らしくてたまらぬと
濡れて蠢く肉を
くぱ…♡
ヒク
ヒク♡
慰めたい…
甘やかしたい…♡
この奥に溢れるまで
注いでほしいと
ひくついている
でしょう
この柔らかな
雌の身体で
全てを包んで
どうぞ
いらして
ください
何の不安も
感じさせず
ただ快楽のみで
満たして
差し上げたい…♡
あ
あ
あ
ぜクッ
ぜクッ
リィシャ様…

さあ
遠慮なく…っ
はっ♥
はっ♥
みちっ
ぴくん♥
ズコンッ♥
ズコズコズコズコ
ズクンズクンズクン
ニチ
ニチ
ニチ
あ
ビッ♥
ん…♥
ビクッ♥
フォルティスっ
先程とは
中が全く…！
ふふ
今は貴女を
欲しており
ますから…♡

分かりますか？
リィシャ様の
隅々までを愛でよう
とする肉の感触…
貴女をお迎え
できた嬉しさに
ひとりでにうねって
おりますでしょう
あ
はっ♡
はっ♡
はっ♡
あ…あ……っ
溶けしまいそう…
柔らかくて
とろとろで…
ずっと私を渇望して
くださっていたこと…
気休めにご自身で慰めて
おられたであろう
ことを思うだに
貴女が愛おしくて
堪らなくなるのです
ゾクゾク
ゾクゾク
もう何も
我慢する必要など
ありません♡
お気の済むまで
ここにお出しください
いつでも何度でも
貴女の精を
飲み干したくて
私の中は切ない
のですから…♡
ゾクゾク
ゾクゾク
あっ♡ うごいて
ないのにぃ♡
そんなこと
いわれたらぁ…
やあぁんんっ♡
んんんんんん♡
ぎゅるるるるる♡

ズクズク
ビュルッ
ビュルッ
グリュ
ん…っ
腰が抜けてしまいましたか？
貴女ご自身はまだまだ物足りぬようですが
グリグリ
あふ
ごめ…なさ…止められないのに…
あぁ
とんでもない

ずっと腰を振ってくださっていたのです
お疲れなのも無理からぬこと…
ギシ…
後は私にお任せください…ッ
あぁ…
ぐぷ…
あぁ♡
ニュプププ♡

ああっ…これ…凄いです…♡♡
はい♡
あっ
ギッ
ゆさ
ゆさ
ギッ
ん
ズプッ
ズプッ
あぁ…
一突きごとに奥まで届いて快楽が全身に響くようです♡
ギシッ
ビクッ

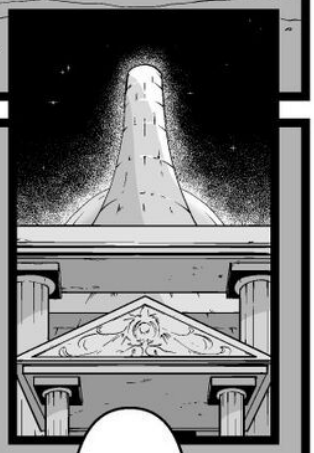
ズグッ
ズグッ
抜いても挿れても絡みついてきて
んっ
あっ♡
ずっと気持ちいい…♡
ばちゅっ
ばちゅんっ
ばちゅっ
そうです…っ♡
もっと私の身体を味わってください
ほっ♡
ズッ
ズッ
貴女が望まれた私の女体…
ほっ♡
あ…あ…っフォルティスっ…
わたし…
あっ♡
ズグッ
ズグッ
ん♡
幸せすぎてどうにかなってしまいそう…！

神の威厳と民の崇拝を
背負った神聖なる神子が
決して冒されざる
べき貴きお方が
欲望を
曝け出し
あらゆる体液に
まみれながら
今や
私の中の熱に翻弄され
赤子のように分別なく
泣いている……

ああ…
リィシャ様…
リィシャ様…♡♡♡
きっと私はずっと
こうしたかったのだ
この身体になる
前からずっと…♡
ギッ
んんっ
ぢゅっ
ん…♡
ぢゅ
漸く本分を
取り戻せたのを
悦ぶように
腰が止まらない♡
ぢゅぷっ
ぢゅぷっ
ぢゅぷっ

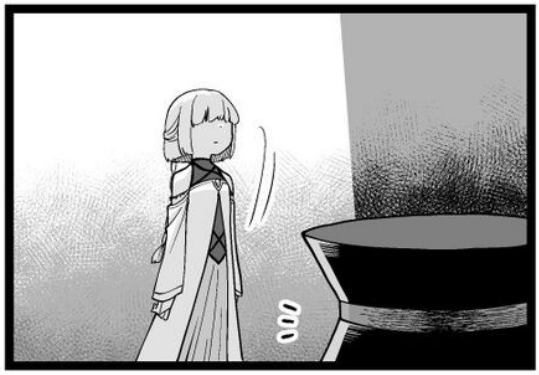
ヤリ
ヤラレッ
ズルルッ
ズルルルッ
ズリ
んぐんんんんぐ……
ヤリ
ズリ

ずっと貴女のお側におります
は
はっ
リィシャ様…♡
はぁ…

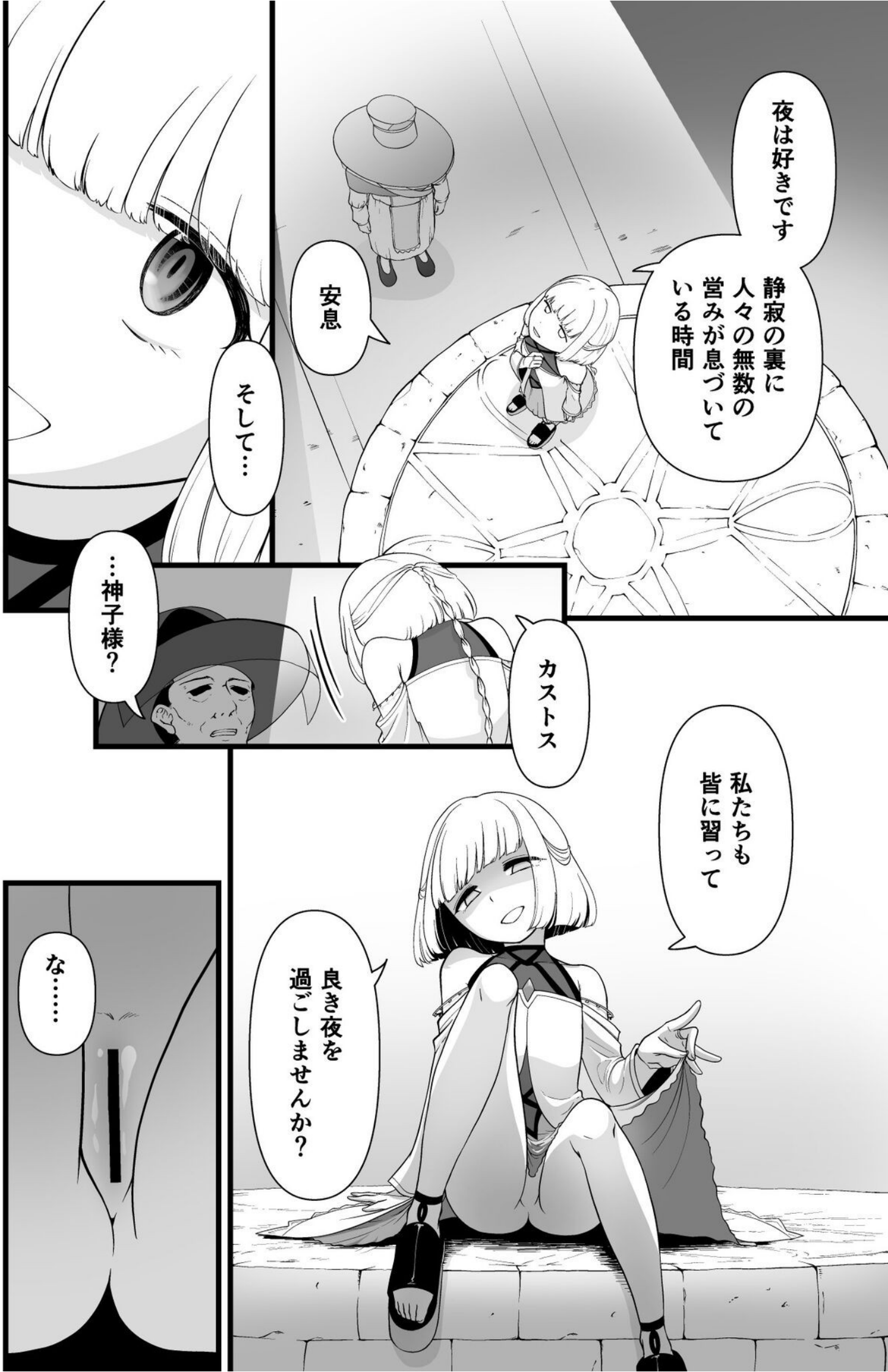


神子様

本日も
ご苦労様
でした



良い夜ですね


夜は好きです
静寂の裏に
人々の無数の
営みが息づいて
いる時間
安息
そして…
…神子様？
カストス
私たちも
皆に習って
良き夜を
過ごしませんか？
な……

ゴクッ
…っ
何を…
ふふ…
知っている
のですよ
ズズ
貴方が夜な夜な
私を慰み物に
する夢を見て
いたこと…
グイッ
魔の者！
いやマナの気配は
紛れもなく神子様…
くっ
守衛！
至急参れ！
守衛！
おや…
カシャ

何やら騒がしいと思って来てみれば…
いかがされましたか司祭
隊長…!?帰還したのか
いやそれより守衛が来ぬなら貴様で良い
神子様のご様子が…
神子様？いつも通りでは？
それに守衛でしたらヒュッ
ひっ…!?
邪魔でしたので
ブロン
獣どもの餌くらいにはなりましょう
貴様…気でもふれたか
まさか

本来あるべき存在に戻ったまでのこと
何と邪悪な…貴様の仕業か！
魔に堕ち神子様を誑かすとは！
誤解です
リィシャ様が私を導いてくださったのですよ
リィ…!?
馬鹿な…神子様の名が漏れてしまったのか!?
かくなる上は2人もろとも
フオオオオ

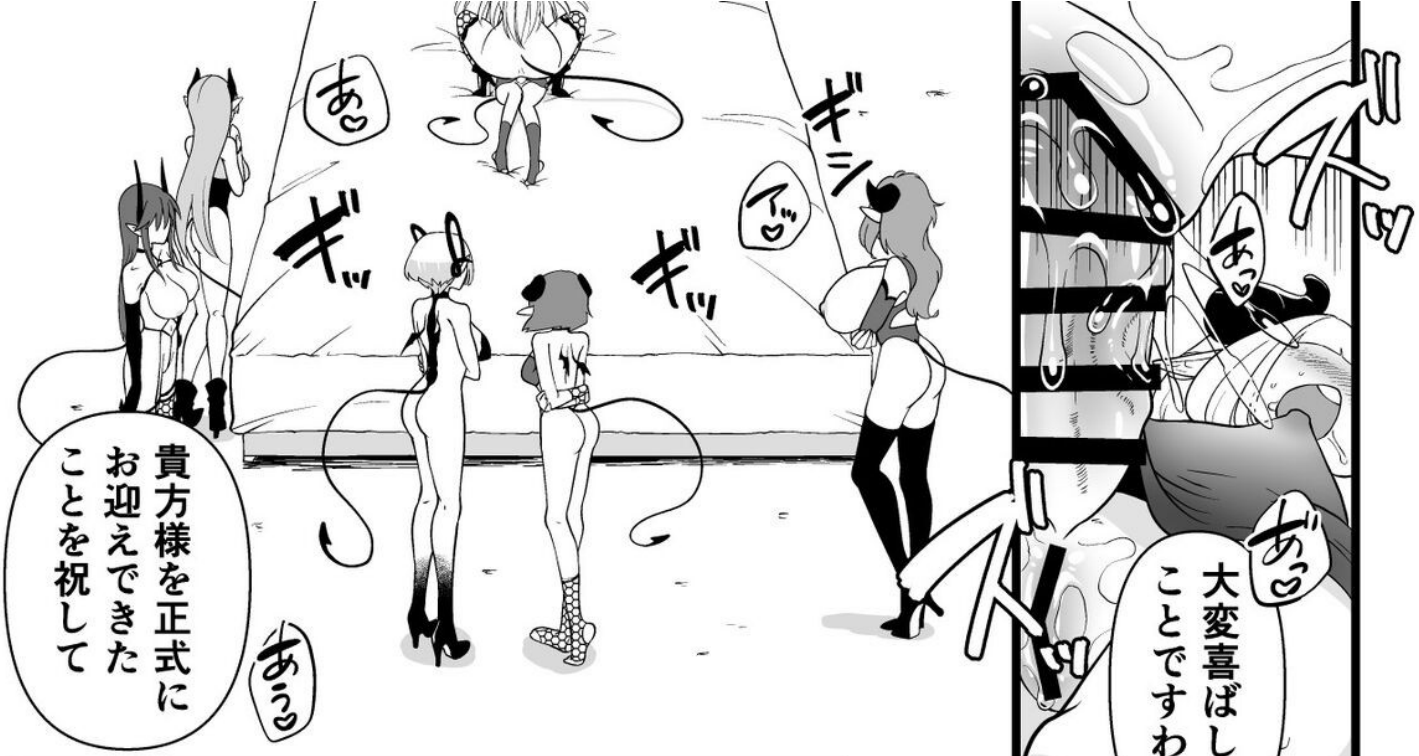
ぐうっ
リィシャ様に
手を出すな
カっ…は…!!
ギリ…

ぐっ…
う……
お…
愚か者め…
神子様は
奇跡の代行者
その存在が消えれば
ここマズアは
たちまち魔が蔓延り
人々は危険に
晒されてしまう

愛？
戯言を

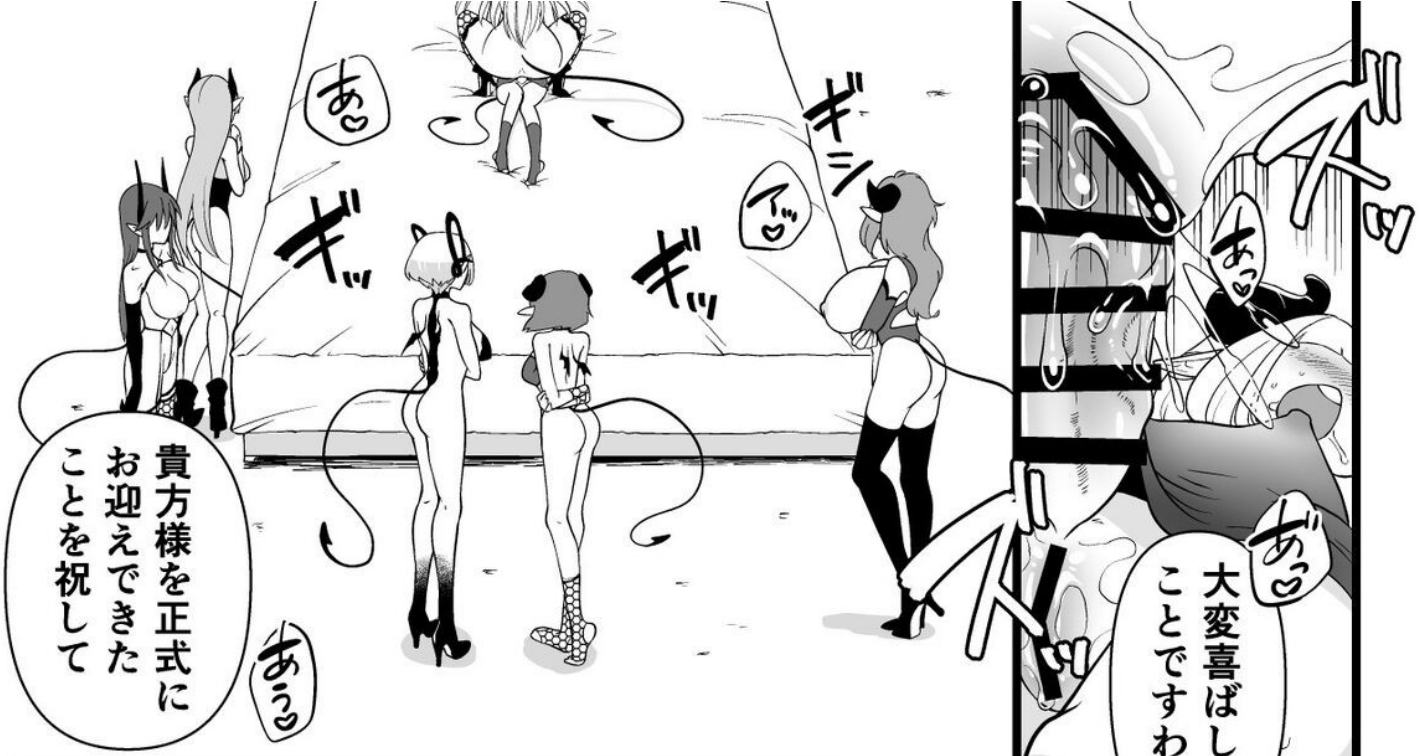
神の…神子様の
愛なくばか弱き民は
生きられぬのだぞ…！

リィシャ様の
愛は今や私のみに
注がれる
これまでこのお方を
利用してきた報いを
この街は
受けるのだ


あっ♡
大変喜ばしいことですわ
あっ♡
ズッ
ギシ
ア♡
ギッ
ギッ
あ♡
貴方様を正式にお迎えできたことを祝して
あう♡

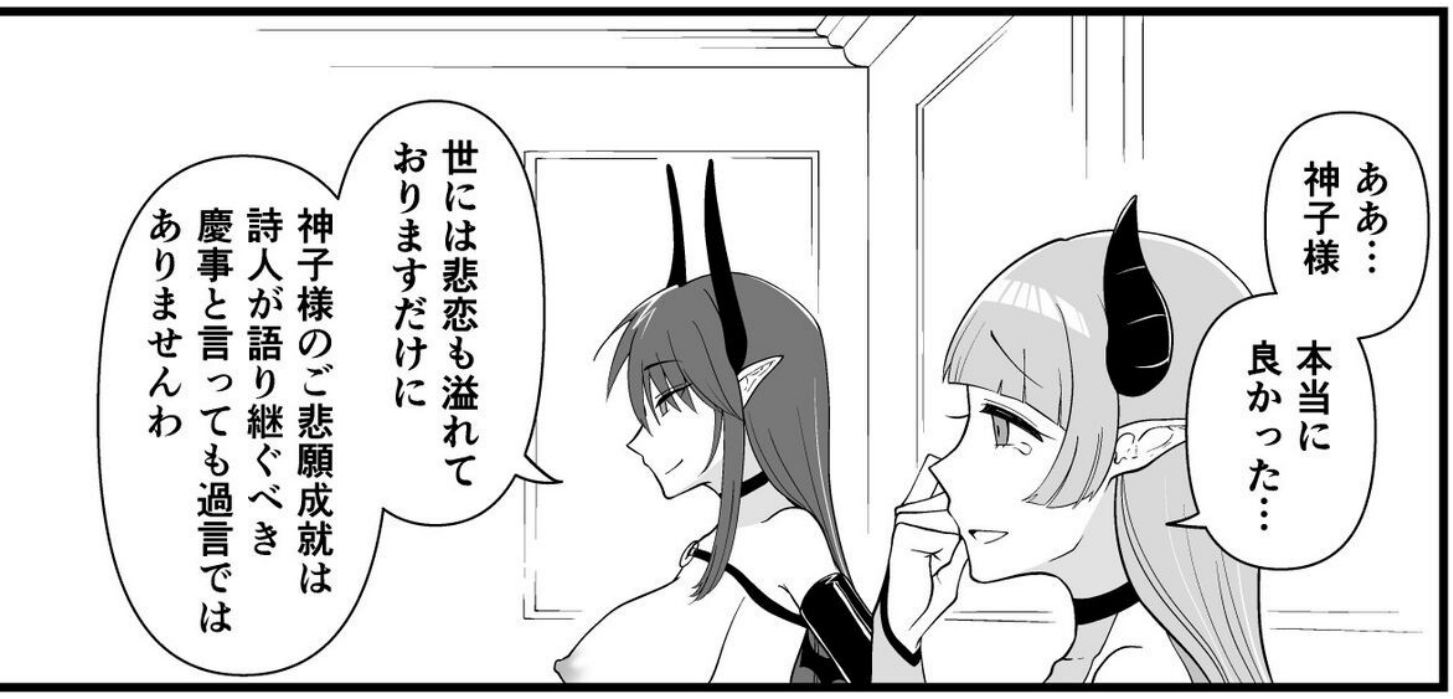
今宵は宴でございます

騎士様♡
はっ♡
ズッ
ズッ
ズッ
ブルン♡
ズッ
ズッ
はっ♡
ドプ
ゲヒッ
ゲヒッ


あっ♡
大変喜ばしいことですわ
ズッ
あっ♡
ギシ
アッ♡
ギッ
あ♡
ギッ
貴方様を正式にお迎えできたことを祝して
あっ♡

今宵は宴でございます

騎士様♡
はっ♡
ズッ
ズッ
ブルン♡
ズッ
ドプ
はっ♡
グチュッ
グチュッ


ああ…
神子様　本当に
良かった…
世には悲恋も溢れて
おりますだけに
神子様のご悲願成就は
詩人が語り継ぐべき
慶事と言っても過言では
ありませんわ

あっ…
ん…♡　皆には感謝
していいます…
私…

あん♡そんなこと
今は結構ですのよ
どうぞ情事を
存分にお楽しみ
くださいませ♡

ふ…
お前たちも
加われ
え…ですが
折角お二人の…

宴ならば皆で
酔わねば面白く
なかろう
お前たちもそれを
期待してここに
いるのだろう？
はっ
くぱ

はぁ
はっ♡
はっ
マズアを陥した褒美も兼ねて…
と言えば遠慮する気も無くなるか？
ぐちゃあ…
初めに私を犯したように
全員で
容赦なく徹底的にやると良い…♡
うふふ…
人望の厚いお方という評判も納得ですわ
お言葉に甘えてご相伴にあずかりましょう♡
ぐっ
みち。。。

あ…！
もっと狭くなってっ…
うふふ♡悦いでしょう？それに…
ご覧ください♡騎士様のこの情けないお顔♡
これを見られるのが多勢で追い詰める醍醐味ですわ♡
以前は魔鏡越しでしたものね♡直接間近で見ると堪らないでしょう？
ああ…あのフォルティスが…こんなにはしたない表情で……

さあ騎士様♡
お言葉通り
全員のお相手を
お願いします♡
ああ…♡
はミ
ニュル…
んミ
ん
クル
クル
ふ
クニ
クニ
そりゃるるっ
くぷっ

うふふ…♡
陰茎の扱いもすっかり
板に着いてきましたわ
こんなに
美味しそうに
舐って…♡
んっ
んミ
ピチャ
ピチャ
ズッ
ズグッ
イッあ♡
あっ
はっ
たゅん
はっ
たゅん
はっ

ちゅるるるっ♡
あっ♡
リィシャさ…ま…
んっひぃっ♡
ちゅくっ
ちゅるっ
クニ♡
あっあっあっあっ♡
LoLoLoLo♡
すまないっ♡
あふ♡
騎士様ぁ♡口と手がお留守ですわよ♡
ぺろっ♡
きゅっ♡
お気になさらず♡今宵は貴女様が主役なのですから♡
騎士様の乱れるご様子が我々には最高の馳走でございます♡
ズッ♡
ズッ♡
ズッ♡
あおっ♡
あぶっ♡
んっ♡
ガク
イクッ♡
ビクッ
ガク
あん♡
私たちも…♡
ん…
んっ
ちゅっ
んむ
ちゅっ♡
ちゅるっ♡

おっおおおオオッ
ビュルルルル
おぐっ
ビク
ビク
ビク
精が沁み渡る…
身体中が悦んでいるのが分かる…♡
あ…
もっと欲しい
ビュッ
ビュッ
ビュッ
ゾクゾク
もっと…♡
あぇ…♡

あっ
あん♡
ああ♡
騎士様ぁ♡
ごめんなさいっ♡
もう出て
しまいますぅ♡

ぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
ぐぐっ
あっ
あん♡
ああ♡
騎士様ぁ♡
ごめんなさいっ♡
もう出て
しまいますぅ♡
ぐぐっ

ぶっかけ♥
ゴクン
ゴクッ
ああぁ♡
全部吸い取られてしまいますわぁ♡
れろん♡
あん♡
ぷはっ
……
次から次へと欲張りなお方…んっ♡
んふ…♡
くちゅ…
れろ
れろ
いやらしい舌遣い…♡とても新米淫魔とは思えませんわね♡
ん……
ふふ…神子様♡

折角ですから
こちらも…
んおぉっ!!
身も心も雌に
なってしまわれて
これもすっかり
持ち腐れ
ですわねえ
あっ
ガク
ビクッ♡
ビク
ガク
ズッ
ズッ
ズグッ
ズッ
ズッ
おぁっ
精々神子様に可愛がって
いただく箇所を
増やすくらいしか
使い道がありませんわ
おオッ♡
フォルティス
の…
くちゅ
くちゅっ

あっ
ゾクゾクゾク♡
刺激すると中がうねって心地良い…♡
はひっ
はへ♡
ふぃ…
腰が止まらない♡♡
キュウ♡
キュッ♡
ふぉろ♡
んっんぐんぐんぐ♡
グリグリ
おひッ♡おッおっおッ♡
ズッ
ズッ
神子様♡子猫のように騎士様に甘えてお可愛らしい♡
ふぅ
アッ♡
ふぅ♡
ふぅ♡
ズッ
ガク
ギュッ♡
後ろをぎゅうぎゅう締めつけておりますわ♡
騎士様も密着できて嬉しいのですね♡
あぉ♡
ガク

あっ♡
あん♡
ぢゅるっ♡
ん
んッ♡
ぢゅぱっ
んぢゅっ…♡
それでも私たちを
忘れず愛でて
くださって
その慈悲深さ…
もといいやらしさ
我々もますます
昂ってしまい
ますわ♡
ちゅぱっ
ぐッ
ぢゅっ
ぢゅぱっ
ぐッ
ああ…ぜんぶ
全部くれっ♡
ぐぢゅっ
ぐぢゅっ
ズッ
ズッ
はっ
はっ♡
全ての穴に
溢れるほど
注いで
お前たちの精で
溺れさせて
くれ♡♡♡
ボッ
ボッ

おごっ
ゴク
ゴク
ゴク
おおおおぉ

騎士様

良き宴を
ありがとう
ございました

ちゅっ
んっ
お二人の美しき
愛の力あれば
ちゅくっ
ちゅっ♡
ちゅるっ♡
ぴちゃ
ふ
んん…♡
ちゅぷ
我々の未来もきっと
明るいものと
なりましょう
ちゅるっ♡
ちゅぷ
これから
楽しみですわ♡
んふ…
ああ…
ちゅぱっ
よろしく頼む♡

ちゅっ
んっ
お二人の美しき
愛の力あれば
ちゅくっ
ちゅっ♡
ちゅるっ♡
ぴちゃ
ふ
んっ…♡
我々の未来もきっと
明るいものと
なりましょう
ちゅぷ
ちゅるっ♡
ちゅぷ
これから
楽しみですわ♡
んふ…
ああ…
ちゅぱっ
よろしく頼む♡